

リオデジャネイロ日本人学校いじめ防止指導計画

令和3年4月改訂

- 留意点 ①取り組みの視点には、本校におけるいじめの実態が反映するよう努める。
②発達に応じてスパイラルに取り組んでいくイメージを具現化に努める。
③治療的な対応ではなく、児童全体が育つこと、保護者地域の理解が深まることを念頭に置く。
④評価を伴うものなので、学年ごとに、指導のねらいが簡潔で明確なものになるよう工夫する。
⑤実践を通して、この計画自体の加除修正評価に努める。

いじめ状況の認識力と理解力を育てる

＜学級初期・低学年＞

自他の違いを理解する

友達のよさを見つけながら、自分のよさを確かめる。

道徳 なかよし・ひっこし・赤鬼・・・(友情)
けむり・どうしたら・ことば・・・(親切)

教科 考えをもつ・友達のよさが分かる

特活

関係づくりへの耐性と意欲を育てる

＜学級初期・低学年＞

多様な感情を理解する

喜び・楽しさ・驚き・安心などのほかに、怒り、苦しみ、悲しみ、我慢・・・などの気持ちを具体的に理解する。

道徳 (動物愛)(規則)(家族愛)(勤労)

教科 国語教材より多数・全教科より

特活

＜学級中期・中学年＞

いじめの姿を理解する

「そんなつもりではなかった」の言葉の意味をとらえ、本来の他者の尊重とは何かを理解する

道徳 友だち・泣いた・おにた・貝がら・・・(友情)

教科 ごんぎつね・のらねこ・・・(親切・正直)

特活

＜学級中期・中学年＞

負の感情を表出する

感情表現の大切さと表現方法の適切さに関心をもたせる。

安心して負の感情は表現してよいことを感じ取らせる(安心感)

道徳 言葉のまほう・

教科 複数の考えを持つ・違いを比較する
気持ちを伝える言葉

特活

＜学級後期・高学年・中学部＞

指摘する集団づくり

勇気をもっていじめや心配な状況を指摘し合える集団づくり

道徳 キャプテン・もうひとつの・心に共に生きる・海の・・・(勇気公平)

教科 考え方や内容のつながりの中で学ぶ
主体的に相談する。ディベートも

特活

＜学級後期・高学年・中学部＞

負の感情をコントロールする

同じ目標に向かって努力する時、違いや負の感情を受入れ生かしていく

道徳 シンフォニー・どこかで・頂上は・(努力)(役割・責任)

教科 公害・国際関係・立場の違い・環境

特活

保護者・教師・地域

の見守りと連携

- ①PTA(保護者交流)講演会・学校だより・学級だより・懇談会・個人面談を利用した児童状況の共通理解
- ②いじめ防止推進法にかかわる、研修を伴った教職員理解と指導計画を反映した教科・領域・行事経営
- ③校内委員会を通じた、定期実態調査と事例検討会議～理解と対処に関する全校周知(実態と指導の評価)
- ④日本専門機関との連携による指導の改善